

実施内容	学校の中でのアドベンチャーラリー (自分たちの新たな可能性に気付く)		体験領域	協働
日付	令和5年10月20日(金)	場所	校庭 / 体育館	
参加校	足立区立千寿本町小学校			
概要	<ul style="list-style-type: none"> 課題に対してまずはやってみて、みんなでアイデアを出し合い、試してみる活動を通して、チームで活動することの楽しさや、チャレンジすることの面白さに気づき、コミュニケーションのあり方について学ぶことをねらいとした内容になっています。 振り返りの場面では、指摘(何が起ったのか)、分析(なぜそうなったのか)、仮説化(どのようにすればいいのか)といった思考のプロセスを踏むことで、学びが深まるようにしています。 			

アイランド

- ・挑戦する過程で、グループごとに改善に向けた意見を交わしながら、様々な工夫を行う様子が見られました。課題を一つクリアするたびに、歓声が上がっていました。
- ・失敗しても「ドンマイ！」と互いに励まし合ったり、残り時間を確認した児童が、「まだ時間はあるから落ち着いて」と声掛けをするなど、助け合う姿が多く見られました。

アイランドのルール

制限時間30分以内に、長さの違う2本の板を使用して、設置された全ての島を経由し、目的地までグループ全員で渡り切るチャレンジ。地面に落ちたり、板が地面に触れた場合は、最初からやり直しとなる。



スパイダースウェブ

- ・グループ全員(9名)がゴムひもの蜘蛛の巣を通り抜けるために、様々なアイデアを出し合い、積極的に挑戦している姿が見られました。
- ・胸の位置よりも高い上段の穴には、体重の軽い子を全員で持ち上げて通り抜けさせるなど、工夫してチャレンジしていました。信頼関係の構築につながっていることがうかがえました。

スパイダースウェブのルール

制限時間30分以内に、蜘蛛の巣を模したネットに触れることなく、グループ全員で協力して通り抜けるチャレンジ。一度通った穴は使用することはできず、ネットに触れた場合は、最初からやり直しとなる。



参加した児童の声・反応

- ・自分の考えたことや気付いたことを言いながらも、周りの人の話を聞くことも大切だと思った。また、自分の個性や周りの人の個性を生かしながら話し合うことが大切だと感じた。
- ・「アスレチック」と聞いて、体を動かすだけかと思ったが、頭もたくさん使った活動だったのでおどろいた。一人ではできないことも、友達と協力することでできたので、友達と協力する大切さを学ぶことができた。